

事務事業名		佐野駅前交流プラザ指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						組織	担当係	まちなか活性化係	担当課長名	越石 彰
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 計画的な中心市街地活性化の推進						実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	11466	一般	8	4	1	佐野駅前交流プラザ指定管理事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	22年度～ 年度		根拠法令等	佐野市佐野駅前交流プラザ条例、佐野市佐野駅前交流プラザ条例施行規則						
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
						任意的事業・義務的事業	任意的事業					
						実施方法	指定管理者					
						事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)					
						リーディングプロジェクト	該当					
						市長マニフェスト	3-1					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
佐野駅前という立地の優位性を活かし、公共交通(鉄道・バス)の結節点として気軽に立ち寄れる施設機能、交通・観光の情報発信機能、そして多くの市民が集まり、にぎわいを創出する機能を持たせることにより、公共交通機関利用者の利便性向上・中心市街地活性化推進を図ることを目的として、佐野駅前交流プラザ「ばるぼー」を建設、平成22年7月1日に供用を開始した。 供用開始と同時に、指定管理者制度により、民間企業へ管理業務を委託している。 施設は、1階が待合所及び観光案内所、2階が多目的ホールとなっている。また、外には交流広場があり、多目的ホール及び交流広場は市民に貸出をしている。 このほか、施設利用者のための駐車場(駐車台数10台)も完備している。原則、毎日開館しており、開館時間は午前7時から午後11時まで(待合所)となっている。 指定管理者は、施設設備の維持管理を行うとともに、指定事業として交流広場及び多目的ホールでまちなか活性化のための事業及び佐野駅南イルミネーション事業等を開催している。	平成26年度は、指定管理者による施設設備の維持管理を行うとともに、指定事業として、「ばるぼー」と4thアニバーサリー&クールアースデー2014、「ばるぼーとカルチャークラブ」、「FANTASTICILLUMINATIONInSANO2014」などを前年度に引き続き実施した。 また、前年度に引き続き、佐野市ゆかりの落語家、三遊亭歌橋(かきつ)師匠による「佐野駅前寄席」などを実施した。 この他、自主事業として、毎月第3土曜日を定例開催日として、「ばるぼーとマルシェ」を実施した。					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
指定事業実施数	回	13	13	13		
自主事業(ばるぼーとマルシェ)延べ来場者数	人	4,450	3,600	4,000		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 施設・駅利用者(市民・来訪者) ② 来訪者(観光客)	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	施設の利用者数	人	91,706	81,225	92,000		
	観光客入り込み数	千人	8,576	8,623	9,000		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① 施設を安全・安心して利用できる。 ② 駅利用者が快適に利用できる、便利であると実感できている。 ③ 来訪者(観光客)が、知りたい観光情報入手できる。 ④ まちなかに活気が出てきたと実感している。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	施設の利用者数	人	91,706	81,225	92,000		
	施設のクレーム対応件数	件	9	10	0		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

地域の特色を活かした事業展開や基盤整備を進めることにより、魅力的なにぎわいのある中心市街地を創出する。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	まちなかが以前に比べて便利になったと思う市民の割合	%	25.9	25.9	29.0	30.0	31.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	31,110	30,937	31,637					
	事業費計(A)	千円	31,110	30,937	31,637	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	63	消耗品費	77	消耗品費	126		
			印刷製本費	72	印刷製本費	70	印刷製本費	105		
光熱水費			2,116	修繕料	282	修繕料	1,215			
通信運搬費			186	役員費	215	役員費	217			
火災保険料			22	指定管理料	30,288	指定管理料	29,974			
指定管理料			28,651	補償金	5					
人件費	人	2	2	2						
のべ業務時間	時間	480	480	480						
人件費計(B)	千円	1,868	1,892	1,892	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	32,978	32,829	33,529	0	0				

事務事業名	佐野駅前交流プラザ指定管理事業	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	担当係	まちなか活性化係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成15年度に完成した「佐野駅自由通路及び橋上駅舎整備事業」に伴い発生した駅舎跡地を、平成19年度に購入する覚書をJR東日本と取り交わしたのをきっかけに、その跡地の有効活用について検討し始めた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	中心市街地の空洞化が進行するなか、まちづくり三法の見直しが行われた。これにより、郊外型の大型店の出店を規制する動きがあり、平成15年に新都市地区にオープンした大型ショッピングセンターを利用した方が佐野駅周辺へ来ていただくにはどうすべきかとの意見が増えている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	佐野駅前交流センターは、議会や市民から、中心市街地の再生の一助となることが期待されている。運営の方法については、地域交流センター運営等検討委員会から、柔軟な運営力や企画実施力が発揮できる指定管理者による運営管理が望ましいと提言された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	市としては、平成26年度は具体的な改革改善の取組は行っていない。 指定管理者の取組としては、施設利用者を増やす取組として、新規の提案事業を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 この事業は、佐野市中心市街地活性化基本計画に位置づけられた市民交流拠点施設について、利用者が安全かつ快適に利用でき、かつ知りたい情報を入手することができるために適正な維持管理を行う事業である。この取り組みを行うことは、魅力的で住みやすい中心市街地とするという上位目的につながるものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案 この事業は、佐野市中心市街地活性化基本計画に位置づけられた市民交流拠点施設であるため、市は施設を管理する責務がある。ただし、民間事業者の優れた経営力、企画力等により施設管理を行うことで、より良い施設管理ができるものと判断し、供用開始と同時に指定管理者による施設管理を行っている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 この事業は、施設利用者及び来訪者が、施設を安心・快適に利用でき、知りたい情報などを入手できるための施設管理を行うこと、そして、にぎわい創出のためのイベント開催などを行う事業であるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 現在、指定管理者による施設管理を行っている。今後、施設利用者を増やす取り組みやにぎわい創出のためにどのようなイベントを行うべきかについて、指定管理者と協議し見直すことは可能である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業費の大半は指定管理料であるが、基準額より低い金額で指定管理料を計上しているため、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 この事業の直接の受益者は施設利用者である。施設利用者からは、適正な使用料を徴収しているため、今のところ見直す必要はないと考える。 この他、待合所や観光案内所などの受益者は市民・来訪者で特定されないため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 佐野駅前交流プラザが存在するかぎり、この事業は継続される。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・利用者向上、にぎわい創出向上を図るため、指定管理者と協議し、指定事業や自主事業の見直しを図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			